

(4) 試験ケース

走行試験ケースの一覧を表-2.3.3 に示す。

走行試験では、各車両組合せ毎に走行ルートを3周走行した。走行にあたっては、特に一般車両の通行規制は行わず、前後に監視車両（乗用車）をつけてなるべく目標速度（40km/h）を維持するように努めた。

表-2.3.3 一般道走行試験ケース

実験ケース	車両組合せ			周回	目標走行速度
	組合せ記号	トラクタ	トレーラ		
A1-1	A1	IA1	TL3	1周目	40km/h
A1-2	"	"	"	2周目	
A1-3	"	"	"	3周目	
A2-1	A2	IA1	TL3	1周目	
A2-2	"	"	"	2周目	
A2-3	"	"	"	3周目	
A3-1	A3	NA1	TL3	1周目	
A3-2	"	"	"	2周目	
A3-3	"	"	"	3周目	
A4-1	A4	HA1	TL3	1周目	
A4-2	"	"	"	2周目	
A4-3	"	"	"	3周目	
A5-1	A5	MA1	TL3	1周目	
A5-2	"	"	"	2周目	
A5-3	"	"	"	3周目	
L1-1	L1	NL0	TL3	1周目	
L1-2	"	"	"	2周目	
L1-3	"	"	"	3周目	
L2-1	L2	HL0	TL3	1周目	
L2-2	"	"	"	2周目	
L2-3	"	"	"	3周目	
L3-1	L3	NL0	SL2	1周目	
L3-2	"	"	"	2周目	
L3-3	"	"	"	3周目	
L4-1	L4	HL0	SL2	1周目	
L4-2	"	"	"	2周目	
L4-3	"	"	"	3周目	

(5) 測定項目および測定方法

主な測定項目は、車軸ひずみによる動的軸重（全車軸）、トラクタ車体と駆動軸間の相対変位、トラクタおよびトレーラの車体加速度、車両走行速度である。

走行速度は、非接触式速度計による計測を行いデータレコーダーへ信号を出力した。

また、各部のデータは基本計測区間でのみ収録することを基本としたが、着目軸である駆動軸については、データレコーダにより走行ルート全長にわたるデータを収録し、車内測定者が基本計測区間への進入・退出を目視で確認しデータに位置特定用の信号を入力した。

表-2.3.4～表-2.3.6 および図-2.3.24 に、各計測位置、計測機器仕様、および計測機器系統を示す。

表-2.3.4 測定位置と測点記号（2軸トレーラ連結車）

No	測点記号	種類	符号	備考	DAT 接続
1	SW	チェック信号	信号が入って+	1.5V乾電池	1ch
2	S1R	トラクタ車軸ひずみ	下方向曲げを+	前軸運転席側	
3	S1L		〃	前軸助手席側	
4	S2R		〃	駆動軸運転席側	2ch
5	S2L		〃	駆動軸助手席側	3ch
6	S3R		トレーラー車軸ひずみ	〃	トレーラー前軸運転席側
7	S3L	〃		トレーラー前軸助手席側	
8	S4R	〃		トレーラー後軸運転席側	
9	S4L	〃		トレーラー後軸助手席側	
10	FrAxle	加速度計		フレーム (+)	トラクタフロント バネ上
11	DUMMY				
12	D	変位量	サスが縮んで-	駆動軸	
13	SPD	速度		速度計出力	4ch
14	RrAxle	加速度計	フレーム (+)	トラクタリア バネ上	
15	KINGPIN	加速度計	連結 上(+)	連結板 (キングピン)	
16	TR	加速度計	フレーム上(+)	ーラ前、後軸中間 バネ上	

記：サンプリングタイムは200HZとした。
注：L・Rは運転席からみる

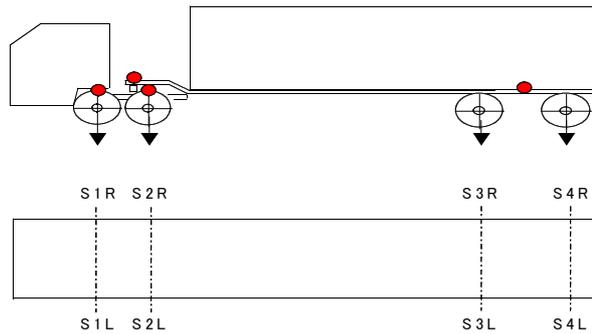


表-2.3.5 測定位置と測点記号（3軸トレーラ連結車）

No	測点記号	種類	符号	備考	DAT 接続
1	SW	チェック信号	信号が入って+	1.5V乾電池	1ch
2	S1R	トラクタ車軸ひずみ	下方向曲げを+	前軸運転席側	
3	S1L		〃	前軸助手席側	
4	S2R		〃	駆動軸運転席側	2ch
5	S2L		〃	駆動軸助手席側	3ch
6	S3R		トレーラー車軸ひずみ	〃	トレーラー前軸運転席側
7	S3L	〃		トレーラー前軸助手席側	
8	S4R	〃		トレーラー中軸運転席側	
9	S4L	〃		トレーラー中軸助手席側	
10	S5R	〃		トレーラー後軸運転席側	
11	S5L	〃	トレーラー後軸助手席側		
12	D	変位量	サスが縮んで-	駆動軸	
13	SPD	速度		速度計出力	4ch
14	RrAxle	加速度計	フレーム (+)	トラクタリア バネ上	
15	KINGPIN	加速度計	連結 上(+)	連結板 (キングピン)	
16	TR	加速度計	フレーム上(+)	トレーラ 中軸 バネ上	

記：サンプリングタイムは200Hzとした。
注：L・Rは運転席からみる

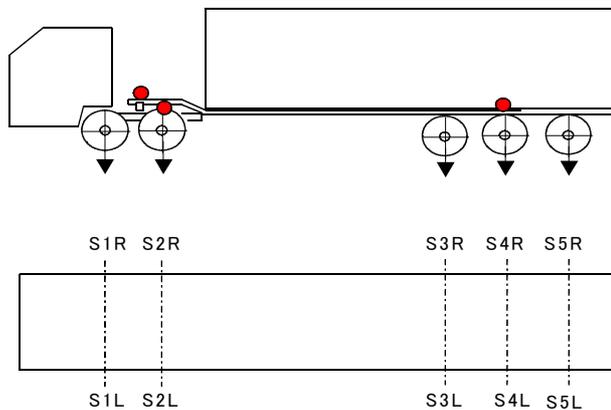


表-2.3.6 主な計測機器

対象	名称	型式	仕様	数量	測定項目
試験車両	ひずみゲージ	FCA-3-11-1L	2軸,ゲージ長3mm	84	トレーラ20枚、トラクタ64枚
	加速度計		20G	3	ばね上(前軸、駆動軸、トレーラ)
	アナログレコーダ	RD-125T	4ch、DATテープ	1	駆動軸2点
	デジタルレコーダ	DR-M3b	16ch	1	2軸トレーラ8点、3軸トレーラ10点
	非接触式速度計	LC-3110		1	RD-125t,DR-M3bに記録
	動ひずみ計	CDV-700A		16	

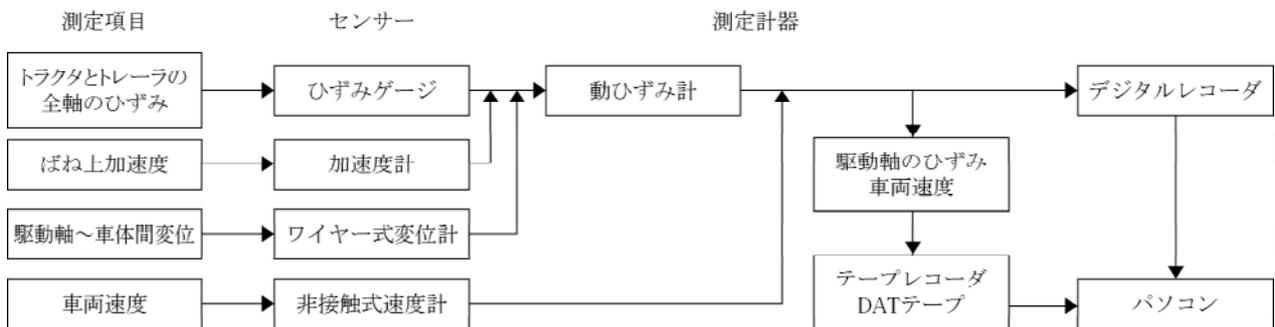


図-2.3.24 測定系統図